

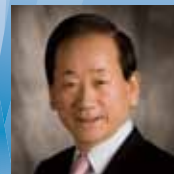


ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

WEEKLY REPORT



2008-2009 RI会長
リー・ドンカン氏(韓国)

■承認/1991年3月8日

■例会日/火曜日・PM6:30

■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号

名古屋マリオットアソシアホテル2202号

TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

■会長/川辺 清次

■幹事/鈴木 清詞

■会報委員長/田中 省三

第861回

2009年5月19日(火) 晴 第40回

～クラブ奉仕月間～

斉唱 奉仕の理想

出席 会員 70名 (出席率算入人数 66名)

出席 60名 出席率 90.91%

前々回補填率 93.75% (4月21日分)

ビジター 名古屋西 RC

丹羽 英夫さん 松山 吉之さん

5月の結婚記念日

7日 太田 敦士さん 20日 安藤 鉄一さん

23日 有川 英敏さん

◆会長あいさつ◆

会長 川辺 清次さん

今日は名古屋西 RC から2名の方がビジターとして来ていただいております。丹羽さんと、松山さんでございます。実は先日、ある会合でお二人とご一緒しました。松山さんはミッドランドの4階で「松山閣 松山」という、京都の歴史ある料亭の名古屋店をやっておられます。その会合は、14日に「松山」でやらせていただきました。湯葉料理ということで、五十何階の店ほど価格は高くはないと思います。一度皆さん、ご賞味いただければと思います。彼は元Jリーガーで、早稲田、古河電工のチームにおられ、つい最近まで名古屋グランパスのコーチをやっておられました。名古屋には御縁があるということで、ミッドランド開設のときにお店を開かれました。丹羽さんとは、ずっと建築関係の会合でご一緒させていただいております。名古屋の老舗の建築設計事務所の方です。今日はお越しいただきありがとうございます。



◆幹事報告◆

幹事 鈴木 清詞さん

1. 次回は「ゆったり例会」です。会場は名鉄ニューグランドホテル7階「椿の間」、時間は18時30分からです。

◆ニコボックス◆

*杉山さん、鈴木さん卓話宜しくお願ひします。

生野 房江さん

*杉山さん、鈴木さん、本日の卓話、楽しみにしております。

榊原 和美さん	中村 勝さん	三浦 隆さん
黒田 康正さん	朝比美和子さん	大橋 さなえさん
宮澤 伸光さん	白銀 義昭さん	林 隆二さん
田中 省三さん	江村 雅夫さん	犬飼 りさ枝さん
久米 伸治さん	牧野 好弘さん	山崎 淳さん
川辺 清次さん	佐々木元彦さん	水野 俊男さん
林 正人さん	木村 猛さん	加藤 英敏さん
吉木 邦男さん	児島 徳和さん	細井 俊男さん
川村 繁生さん	佐々木 眞さん	東山 直史さん
小野 雅之さん	江上 隆夫さん	山本 誠一さん
堀田 光江さん	長尾 浅吉さん	鈴木 清詞さん
安藤 修さん	野々村憲吾さん	大隅 紀郎さん
水谷 誠さん	森田敏二三さん	田中 一雄さん
三島多恵子さん	中西 芳子さん	新原 尚さん
浅井 浩さん	鈴木 享さん	三浦 和人さん
出田真太郎さん	猪村 美之さん	

*本日卓話です。気がのりません！ 杉山 隆秀さん

*本日の卓話宜しくお願ひ致します。 鈴木 一博さん

*長い間休会し、親睦委員の方々を始め、皆様に大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。今後共よろしくお願ひします。 久米 伸治さん

*久々のホームクラブです、お久し振りで。 加藤 宣之さん

*今朝孫が生まれました。浜松の病院にて対面。私に似て?かわいい顔した女の子です。 武藤 正行さん

本日合計 77,000円 累計 1,667,000円

◆同好会報告◆

●ゴルフ部会 児島 徳和さん

ゴルフ同好会は毎年度、クラブ会長からポケットマネーで「会長賞」をちょうだいしております。来週、南愛知で今年度の最終コンペがあり、再来週の6月5日は取切戦です。

川辺 清次さん

歴代会長から賞品が発表されると、皆さん、インターネットでいくら位するのかお調べになるようです。それはちょっと恥ずかしいと思っていたので、相場物にいたしました。金の延べ棒です。よろしくお願ひいたします。

第863回例会(6月2日)のご案内

外部卓話 東海ビジョン株式会社

山内 敏明様 井上 俊幸様

◆臨時総会◆

●マリOTT値上げに対するアンケートの件

副幹事 木下 福郎さん

4月27日期限で提出していただきましたアンケートの結果を発表します。会員69名のうちご回答をいただいた方が57名、投票率は82.6%です。投票数のところに小数点以下がありますが、これは、複数回答された方がおみえになりましたので、「○」が二つの場合は0.5ずつ、三つの場合は0.3ずつとしてカウントしたためです。

<集計結果>

「年会費4万円の値上げ」17.7票 (31.1%)

「ニコボックス流用」7.7票 (13.5%)

「国際H+ニコボックス流用」7.5票 (13.2%)

<希望例会場>

「マリOTTアソシアホテル」72.8%

「名古屋国際ホテル」22.8%

「名鉄グランドホテル」4.4%

ニコボックスについては、皆様一律に出していただいておりますので、それを例会費、クラブ活動費に使うことは問題ではないか、ニコボックスはもっと意味のあることに使って欲しいというご意見が多かったです。

このアンケート結果を受けまして、今後、ニコボックスの使い方につきましては、皆様に納得していただける使い道を考えていきたいと思っております。

集計結果をふまえ、次年度より年会費4万円の値上げを承認ということによりよくお願いいたします。

◆会員卓話◆

●杉山 隆秀さん

私はロータリーに入会して18年になり、今では家族ぐるみでお付き合いさせていただいている方もみえます。趣味としてはゴルフが大好きです。細井さんと同じ車種、同じ色で、同じナンバープレートをつけております。細井さんはナンバープレートと同じ「36-36」で回られましたけれども、私も昔は「38-38」で回ったことがあります。そういうわけで、「よし、次は絶対にパープラーで回ろう」と思って「36-36」にしました。

次に仕事の話を見せてもらいます。うちの業種は冷間鍛造といえます。冷間鍛造の歴史は、今から100年ほど前に鉛パイプを製造したのが始まりです。本格的に普及したのは1930年代半ばごろで、ヨーロッパで当時、真ちゅうの原料である銅および亜鉛が不足したため、軍用の薬莖、信管他の軍需品を銅で作ることが必要になり、銅の冷間鍛造についてドイツで特許を取得したのが始まりです。しかし当時は、軍需品＝軍事秘密ということで、特許は公開されませんでした。その特許が公開されたのが1942年です。それから、第二次大戦直後に米国の軍および通商部門に支援された産業技術情報委員会がドイツを訪れ、この技術について学び取ってから、20ミリの銅製薬莖、3.5インチの銅製ロケット、後に75ミリ、105ミリ砲弾の薬莖を製造しました。

これらの、冷間鍛造が軍により推進されたのは、国家の危急な時期に重要な鋼他の金属材料が節約でき、機械加工の時間が節減できるという理由からです。冷間鍛造は材料のロスが少なく、加工時間も少ないということが最大の特長です。

私の会社は冷間鍛造の中でも、ネットシェイプ、いかに切削しろを少なくするかということを目指して設計などしております。主要部品は、自動車の酸素セン



サーです。酸素センサーは、三元触媒を用いた排気ガスの浄化システムに多く用いられ、エンジンの燃焼コントロールには欠かせない部品です。

酸素センサーを生産しているメーカーは、日本のNGK(日特)さん、デンソーさん、ドイツのポッシュ、この3社しかありません。去年までは、この3社で、月産800万個強を生産しており、そのうちの320万個をうちが生産していました。世界シェア40%です。しかし自動車産業が不況になり、2月は70万個に落ちました。

名南RCの会是は「明るく、楽しく」ですけれども、私は「厳粛」という言葉が好きですので「明るく、楽しく、厳粛に」という会是であればいいなと思っています。

●鈴木 一博さん

私どもは、今年度、光触媒のアレンジフラワーを、親睦活動・家族委員会の皆様方の中でご指名をいただきまして、誕生祝いということでお贈りさせていただいております。今日は、その「光触媒」のお話をさせていただきます。



光触媒は1967年(昭和42年)、東京大学の実験室で、酸化チタンに光を当てたところ気泡が出たことから偶然に生まれた技術です。1972年7月、イギリスの科学誌「ネイチャー」に「夢の水素エネルギー」として取り上げられ、一躍注目を浴びました。1990年(昭和65年)、東京大学とTOTOがトイレの脱臭で共同研究をスタートしました。1992年(平成4年)には、光触媒の抗菌、防汚に関する特許出願が多く出され、特許件数が8,000件を超えました。今現在では1万件近くあるのではないかと思います。1999年(平成11年)7月、当時の通商産業省工業技術院名古屋工業技術研究所(現独立行政法人産業技術総合研究所)から、「光触媒粒子及びその製造方法」について特許出願して以来、用途開発について急速に発展してまいりました。

光触媒には大きく二つの作用があります。光触媒は酸化チタンを使用するわけですが、その表面に光を当てることによって、有機物が接触によって分解を起こします。消臭と防汚の作用があるということです。

第2に、酸化チタンはメカニズムとして超親水性がございます。光が当たることによって水の接触角がゼロに近くなるということです。ビル外壁、ガラス等の表面に施しておくことによって、雨水等によって汚れを中から浮かせて、自然に落とすことができます。こういうものはセルフクリーニングといわれ、TOTOさんの「ハイドロテクトタイル」、INAXさんの「マイクロガード」があり、東京の丸の内ビルの外壁に施行されております。

光触媒は植物の葉緑素と同じです。植物は葉緑素により、太陽光線を吸収して、空気中の二酸化炭素と根から吸収した水分からでんぷんを作ります。これが炭酸同化作用＝光合成です。光触媒は無機質ですから、半永久的にもつ材料で、日本に無尽蔵にあるということです。非常に期待されている原料であります。

このような素材を今後どのように使っていくかということですが、今開発しているのは、素材そのものと酸化チタンを複合した高機能なものです。分解機能は光の力と比例しておりますので、それをさらに高機能にしたものということですね。光も、現在は紫外線ですが、もう少し波長の短いものにだんだん置き換えていく、そういう開発競争がされているのが現状です。